



# 陽光

Vol.8  
通巻 70号

## 「3.11 企画」～被災地福島の視察報告会～

2月4日から5日の一泊二日で、福島震災復興を視察する体験旅行を企画・実施しました。一日目は、復興商店街「浜風商店街」を参観し、語り部の話を聞きました。二日目は、国道6号線を通り、福島第一原子力発電所付近をバス内より見学しました。旅行の詳しい内容は「花信風」通巻46号に掲載しています。別途、参照ください。

旅行中に、語り部の話と国道6号線の動画を撮影しました。旅行のふり返りに活用することと、旅行に参加していないユーザーに福島状況を伝えたいと考えたためです。

スタッフミーティングで、ふり返りの日程をいつにするか話し合い、3月11日(金)に防災企画として笠間の「光(KOO)」で開催することを決めました。

報告会は、東日本大震災をふり返り、災害を「自分事」として改めて捉えなおす機会を意図して企画しました。

映像を観て、ミーティングをし、感想を書く組み立てとしました。

参加者は表Iに示したとおりです。旅行参加者を中心に震災や原発に関心のあるユーザーが集まりました。

報告会の当日は、撮影してきた映像をスクリーンに映して参加者全員で観ました。

旅行に参加したユーザーは映像の合間に、自身を感じてきたことを話しました。

感想をノートにまとめて準備してきたユーザーもいました。

旅行に行っていないユーザーにとっては、この日が福島の現状を知る機会でした。写真や映像に驚き、報告会が終了した後も、自身の「3.11」体験と重ねて話をしていました。

報告会を実行し、「3.11」を思い出すことが防災意識につながると感じました。

停電や断水、食糧やガソリン不足で、日常の有難さが身に染みたあの時のことを、時間が経つと忘れてしまいます。他人事ではなく、「自分事」として生活(くらし)に取り入れる防災とするために、3.11に立ち戻って考える日は今後も必要です。(編集子)

表I 企画の参加状況 (人)

事業所名	企画名	体験旅行	3.11 企画	
			◎報告者	●旅行不参加で企画のみ
「風(F00)」 (水戸地区)		4	◎3	●1
			◎6	●4
「光(K00)」 (笠間地区)		6	◎6	●4
			◎6	●4

